



補足表 : 各都道府県の人口10万人あたりの交通事故発生件数(2021年1～8月累計)

人口10万人あたりの交通事故発生件数が多い順

1位	静岡	345.9 件
2位	群馬	327.2 件
3位	佐賀	276.4 件
4位	宮崎	271.4 件
5位	福岡	250.0 件
6位	香川	224.8 件
7位	愛知	204.3 件
8位	兵庫	199.9 件
9位	山形	190.6 件
10位	徳島	183.9 件
11位	大阪	181.8 件
12位	山梨	164.5 件
13位	岡山	162.6 件
14位	神奈川	151.7 件
15位	鹿児島	146.9 件
16位	長野	145.3 件
17位	埼玉	143.7 件
18位	奈良	143.5 件
19位	長崎	136.5 件
20位	千葉	136.0 件

21位	茨城	132.2 件
22位	栃木	126.9 件
23位	滋賀	126.4 件
24位	大分	126.0 件
25位	東京	125.1 件
26位	青森	121.7 件
27位	沖縄	118.9 件
28位	熊本	117.9 件
29位	富山	117.0 件
30位	山口	116.9 件
31位	宮城	116.3 件
32位	愛媛	106.7 件
33位	石川	103.2 件
34位	広島	103.1 件
35位	福島	102.7 件
36位	北海道	101.1 件
37位	三重	100.3 件
38位	高知	98.1 件
39位	京都	96.9 件
40位	岐阜	96.5 件

41位	和歌山	95.0 件
42位	秋田	83.7 件
43位	新潟	80.3 件
44位	岩手	76.7 件
45位	福井	75.1 件
46位	島根	71.7 件
47位	鳥取	71.0 件

全国平均	154.1 件
------	---------

出典：警察庁「交通事故統計」

補足表 : 各都道府県の人口10万人あたりの交通事故死者数(2021年1～8月累計)

人口10万人あたりの交通事故死者数が多い順

1位	徳島	3.0 人
2位	香川	2.8 人
3位	高知	2.7 人
4位	山梨	2.5 人
5位	和歌山	2.4 人
6位	愛媛	2.2 人
7位	岐阜	2.1 人
7位	秋田	2.1 人
9位	栃木	2.0 人
9位	群馬	2.0 人
9位	鹿児島	2.0 人
12位	大分	1.9 人
13位	佐賀	1.8 人
13位	富山	1.8 人
13位	鳥取	1.8 人
13位	三重	1.8 人
17位	茨城	1.7 人
17位	滋賀	1.7 人
17位	福井	1.7 人
20位	岡山	1.6 人

20位	福島	1.6 人
20位	広島	1.6 人
23位	山口	1.5 人
23位	北海道	1.5 人
23位	静岡	1.5 人
26位	新潟	1.4 人
26位	山形	1.4 人
26位	熊本	1.4 人
29位	沖縄	1.3 人
29位	岩手	1.3 人
29位	宮城	1.3 人
29位	長崎	1.3 人
29位	奈良	1.3 人
29位	長野	1.3 人
29位	福岡	1.3 人
36位	兵庫	1.2 人
36位	青森	1.2 人
36位	京都	1.2 人
36位	千葉	1.2 人
40位	宮崎	1.1 人

40位	大阪	1.1 人
42位	埼玉	1.0 人
42位	石川	1.0 人
44位	愛知	0.9 人
44位	神奈川	0.9 人
46位	島根	0.7 人
47位	東京	0.6 人

全国平均	1.3 人
------	-------

出典：警察庁「交通事故統計」

## 〔トピック〕横断中の死亡事故の発生状況

- ・8月までの2021年中における横断中の死亡事故は324件で、全体の死亡事故1,585件の20%と、前年よりも「横断中死亡事故件数」、「事故全体に占める割合」のいずれも減少したが、「横断歩道」での死亡事故は過去5年間、死亡事故全体の6~8%で推移し、歩行者の信号無視も含まれているとはいえ、決して低い値とは言い難い。(図表4)

図表4. 過去5年間の横断中の死亡事故の発生状況(各年8月末時点) 出典：警察庁「交通事故統計」

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
横断中合計	495 (22%)	463 (22%)	394 (21%)	354 (21%)	324 (20%)
横断歩道	148 (7%)	159 (7%)	117 (6%)	140 (8%)	116 (7%)
横断歩道付近	49 (2%)	61 (3%)	57 (3%)	48 (3%)	45 (3%)
横断歩道橋付近	6 (0%)	2 (0%)	4 (0%)	3 (0%)	3 (0%)
その他(注)	292 (13%)	241 (11%)	216 (12%)	163 (10%)	160 (10%)
死亡事故件数全体	2,256 (100%)	2,135 (100%)	1,873 (100%)	1,712 (100%)	1,585 (100%)

注：「その他」は、横断歩道、横断歩道付近、及び横断歩道橋付近以外の道路を歩行者が横断していた時に事故が発生した件数

### 一般社団法人 日本自動車連盟(JAF)調査結果

図表5は、一般社団法人 日本自動車連盟(JAF)が、2020年8月に「信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止状況」について調査した結果である。道路交通法38条1項により、横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる場合、「車は一時停止しなければならない」と定められているが、約8割のクルマが停止していない。

『利用可能性の誤謬』(“ギャンブラーの誤謬”、“モンテカルロの誤謬”)

「ある事象を的確に認識せずに、慣習や印象によって対処してしまうと、いずれ大きな間違いを起こしてしまう」という意味の警句である。自分のクルマから見た相手が歩行者であれば、「横断する気はない」「飛び出さないだろう」というような推測や思い込み、相手が車両ならば、「止まってくれるはず」といった期待感で判断してしまうこと等があてはまるが、そこに交通事故の危険性が潜んでいると考えるべきなのかもしれない。

図表5. 信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止状況

信号機のない横断歩道で歩行者が渡ろうとしている時に一時停止した車が多い順

1位 長野	72.4%	21位 北海道	22.4%	41位 香川	12.1%
2位 兵庫	57.1%	22位 鳥取	22.0%	42位 大阪	11.8%
3位 静岡	54.1%	23位 秋田	21.8%	42位 徳島	11.8%
4位 新潟	49.4%	24位 京都	19.9%	44位 富山	10.7%
5位 島根	43.2%	25位 福井	19.7%	45位 岡山	7.1%
6位 山梨	35.8%	25位 岐阜	19.7%	46位 東京	6.6%
7位 長崎	35.0%	27位 奈良	19.0%	47位 宮城	5.7%
8位 愛知	32.5%	28位 滋賀	18.7%		
9位 福岡	31.4%	29位 鹿児島	18.3%	全国平均	21.3%
10位 宮崎	31.3%	30位 佐賀	18.1%		
11位 石川	29.3%	31位 山口	18.0%		
12位 広島	27.9%	31位 沖縄	18.0%		
13位 茨城	27.3%	33位 和歌山	15.9%		
14位 三重	27.1%	34位 大分	15.7%		
15位 福島	27.0%	35位 愛媛	14.5%		
16位 千葉	26.7%	36位 栃木	14.2%		
17位 熊本	25.7%	37位 群馬	13.9%		
18位 山形	24.8%	38位 高知	13.4%		
19位 神奈川	23.4%	39位 青森	12.9%		
20位 岩手	23.2%	40位 埼玉	12.4%		

出典：

一般社団法人 日本自動車連盟

<https://jaf.or.jp/>